

| 項目         | 内容   |
|------------|--|
| 名称         | オウレン [英]Coptis、Goldthread [学名]Coptis japonica (Thunb.) Makino、Coptis chinensis Franch.など   |
| 概要         | オウレンは、キンポウゲ科の多年生草本。日本薬局方では根をほとんど除いた根茎、ひげ根が生薬の黄連として収載され、下痢、嘔吐、腹痛等に利用されているが、食品のオウレンと混同しないよう、注意が必要である。  |
| 法規・制度      | <p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。</li> <li>・根茎、ひげ根：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。</li> </ul> <p>■ 日本薬局方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オウレン、オウレン末が収載されている。</li> </ul> |
| 成分の特性・品質   |  |
| 主な成分・性質    | ・アルカロイド（ベルベリン、パルマチン、ヤテオリジン、コプチシンなど）を含む（101）（102）。  |
| 分析法        | -  |
| 有効性        |  |
| ヒト循環器・呼吸器で | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。  |

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| の<br>評<br>価 | 消化系・肝臓  | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 糖尿病・<br>内分泌   | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 生殖・泌尿器  | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 脳・神経・<br>感覚器  | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 免疫・がん・<br>炎症  | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 骨・筋肉  | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 発育・成長   | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | 肥満  | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
|             | その他   | ・「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に区分される部位に関する情報は、調べた文献の中に見当たらない。 |
| 参考文献        | (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳<br>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)<br>(101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規<br>(102) Electron J Biotechnol. 2015;18(5):376-80.<br>(103) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店<br>(104) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修 |   |